

環境建設工学科 在学生の声



池本 大樹（いけもと ひろき）さん

出身県・高校：高知県・高知小津高校

コース：社会デザインコース

学年：4回生

就職先：四国電力株式会社

社会デザインコースの志望理由

私は幼い頃から土木に関心があり、将来は土木に関わる仕事をしたいと思っていました。大学受験の際、当時の学科のパンフレットを見て、本コースは一回生から研究室に仮所属し、学生一人に教員一人がついてくださって研究を体験できることを知り、少人数教育の体制に魅力を感じました。

また、本コースは文系の学生も受験することができ、土木についてハード面・ソフト面の両方から幅広く学ぶことができると思い志望しました。

将来のキャリアパスについて

大学の講義を受講していくうちに社会インフラの維持管理業務に興味を持つようになりました。その中でも私たちの暮らしに身近な存在である電力施設の維持管理に携わりたいと思うようになり就職活動を行い、来春から四国電力株式会社に就職することが決まりました。

将来的には火力発電施設の建て替えや伊方原発の廃炉計画などの事業に関わり、四国の人々の安心・安全を守ることに貢献したいと思います。

大学生のライフスタイル

勉強を頑張ることはもちろんですが、大学生になると高校の時と比べて自由な時間が圧倒的に増えます。私はその時間を利用してサークル活動やアルバイトをしています。

愛媛大学は他大学に比べ、キャンパスと市街地の距離が近いため、空き時間を有効に使うことができます。休みの日も多いため、長期休暇には旅行によく行っています。

大学の授業

実験を頑張りました。実験レポートの作成は苦労しましたが、座学で学んだことを、実際に手を動かしながら再度学ぶことができたので理解が深まりました。中でもコンクリート実験は、普段私たちがよく目にするコンクリートがどのようにして作られるのかを学ぶことができとても興味深かったです。また、実験では先生方や先輩方とお話できる機会が多いため、とても貴重な時間だと思います。

環建ライフの良いところ

環建のカリキュラムは道路や橋の見学、実験や演習など、グループで協力して行う講義が多いため、同級生と仲良くなれます。またそのような講義の関係で、他学部に比べ一回生の頃から先生方や先輩方との距離が縮まるところが環建ライフの特徴であり、良いところだと思います。

受験生の皆さんにメッセージ

理系の学部・学科は勉強が大変なイメージを持ち、不安になりがちです。しかし、先に述べた通り、本学科は先生方や先輩方との距離が近いので、専門科目の少し難しい勉強も手厚くサポートして下さる環境が整っています。勉強以外に費やせる時間も多くあるので、大学生らしくはめを外して、遊びにも熱中することができます。

今この文章を読んでいる人は少なからず環境建設工学科に興味を持っていると思います。受験勉強は辛く苦しいものですが、頑張ったら頑張った分だけ楽しい環建ライフが必ず待っています。ぜひ私たちと一緒に楽しい環建ライフを送りましょう！